



やま お山のライチョウ

とつかがく かいせいしゃ
戸塚学作 偕成社

日本には、高山だけにすむ、ライチョウという鳥がいる。年に3回、羽が生えかわり、冬は全身まっ白。野鳥なのに、人が近くにいっても、逃げない。それは日本では、神様の使い、神の鳥として、大切にされてきたからだ。そんなライチョウが、絶滅の危機に追いこまれている。標高の低い場所にいる天敵や、食べ物をめぐるライバルとなる動物たちが、地球温暖化の影響で、高山に入ってきたからだ。ライチョウの1年のくらしと、保護活動の様子を写真で紹介する。

